

INSIDELATEX

NOEKO NISHI

インサイドラテックス

西のえこ



汚れた俺に、
さわらないで。

恋人と親密になりたい大学生

×
トラウマ持ちの歯医者

ゴム手袋越しでしか触れ合えない2人のセンシティブ・ラブ

INSIDELATEX

NOEKO NISHI

インサイドラテックス

西のえこ



INSIDE LATE X CONTENTS

003	第1話
039	第2話
067	第3話
109	第4話
147	第5話
215	隣りの男
255	ライトハウスナイト
289	描き下ろし

俺の唾内をいじる
先生の手が好きだ

歯や舌は
敏感な神経が
通っている
部位であり

紙一枚の感触
さえ感知する

その指から
伝わる先生の熱

肉や骨の感触さえ
感じるのだ

直接その手に
触れたことは
一度だってない

いっだって
ラテックスに
包まれている

先生の
その手を

俺は

ながた
長田さーん

病
防
しよう!

歯は
こいせつか
しむせつか
お子
の歯ぎを指導しています。

ながた
しゅう
長田 守生さん
ど〜ぞ〜



いいえー
こちら
どうぞ

すみません

大学
忙しい？



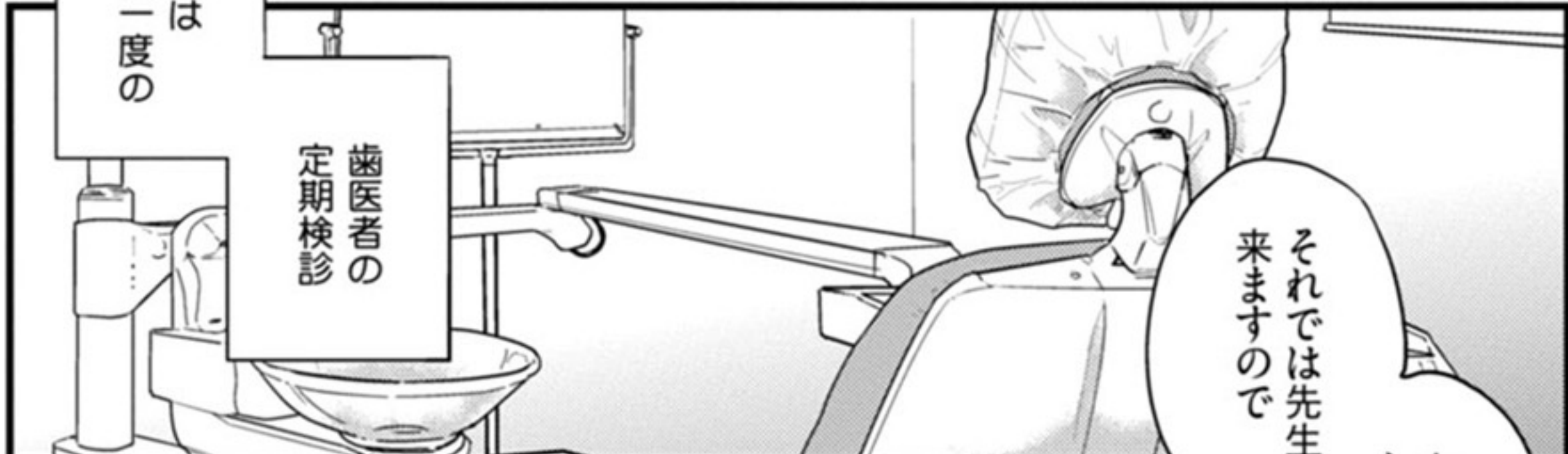
はあ
まあ



長田さん？

あ
はい

ガ
バ
ッ



今日は
月に一度の

歯医者の
定期検診

それでは先生
来ますので
少しお待ち
ください



予約時間は
決まって最後

コン
コン



理由があつて



はい

学生としては
結構な頻度で
歯医者に通うのは





こんばんは

ちゃんとして理由がある

それにも



先生今日何時終わりますか？

ん？
19時頃かな

それと同時に

この人
倉科郁也さんは
俺の担当医で

今日も
クリーニング
中心だね

じゃあ

先生





人前だろ

暗いから
見えないですよ

やーだよ



俺たち
お付き合いを
始めてから

かれこれ
約2ヶ月が
経つけれど

いまだ手さえ
繋いだことが
なかったりする



今日も
駄目か

ハズ

と言ったのには
理由があつて



はじめは
男同士でまだ
慣れないのかな

と
思ったりした

俺は男と
付き合うのは
初めてだった

けど

先生は

とじやら
違うみたい

じゃあ
ここで



だって過去の
恋人の話なんて
蒸し返すの
カッコ悪いし

世の中は



おやすみ

詳しくは
話して
くれないし



それは俺も
聞けない

おやすみ
なさい





何それ…

先生の

気持ち
を
尊重
したい

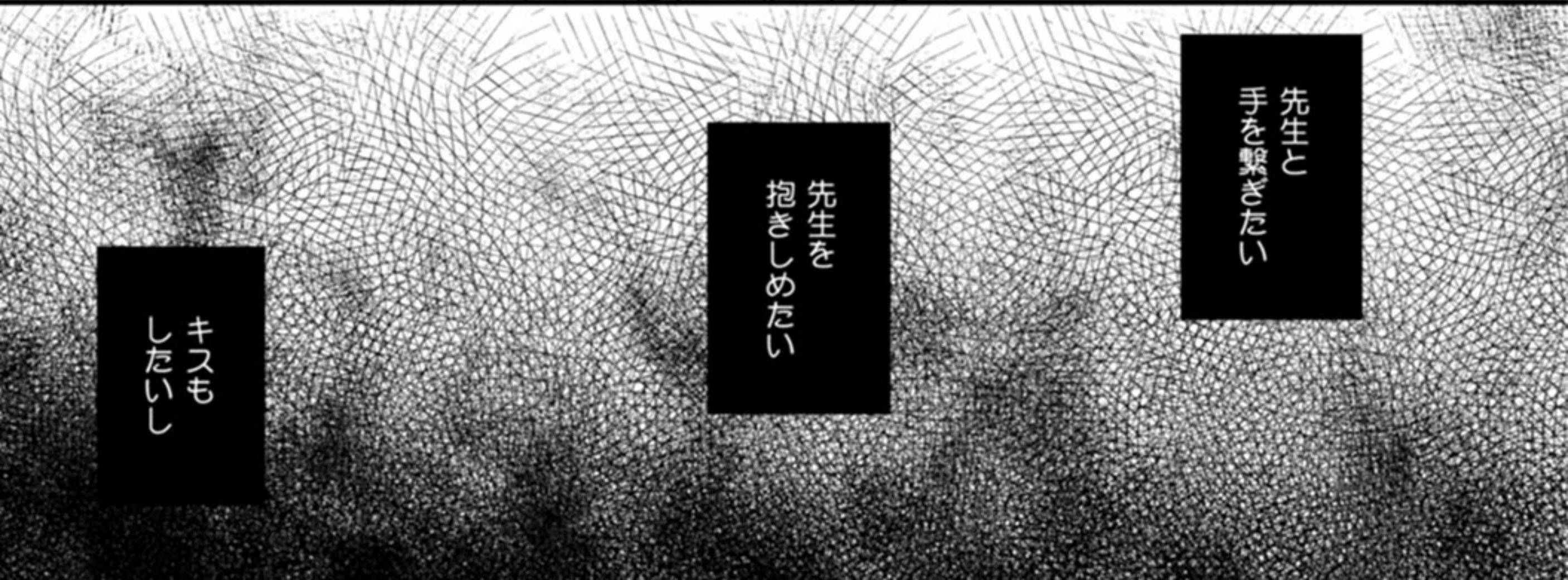


…



けど

本当は



先生と
手を繋ぎたい

先生を
抱きしめたい

キスも
したいし



セックス
だって

はっ



あッ

だめだめ

はっ

そこ...



はっ

はっ

守生くん



はっ

はっ



はっ

はっ

先生の



はっ

はっ

はっ

イツちゃ...ッ

ゴクッ

はっ

はっ



頭の中では

プラトニックな関係を
突き通せるのだろうか



はー…

あらぬ姿を
想像して

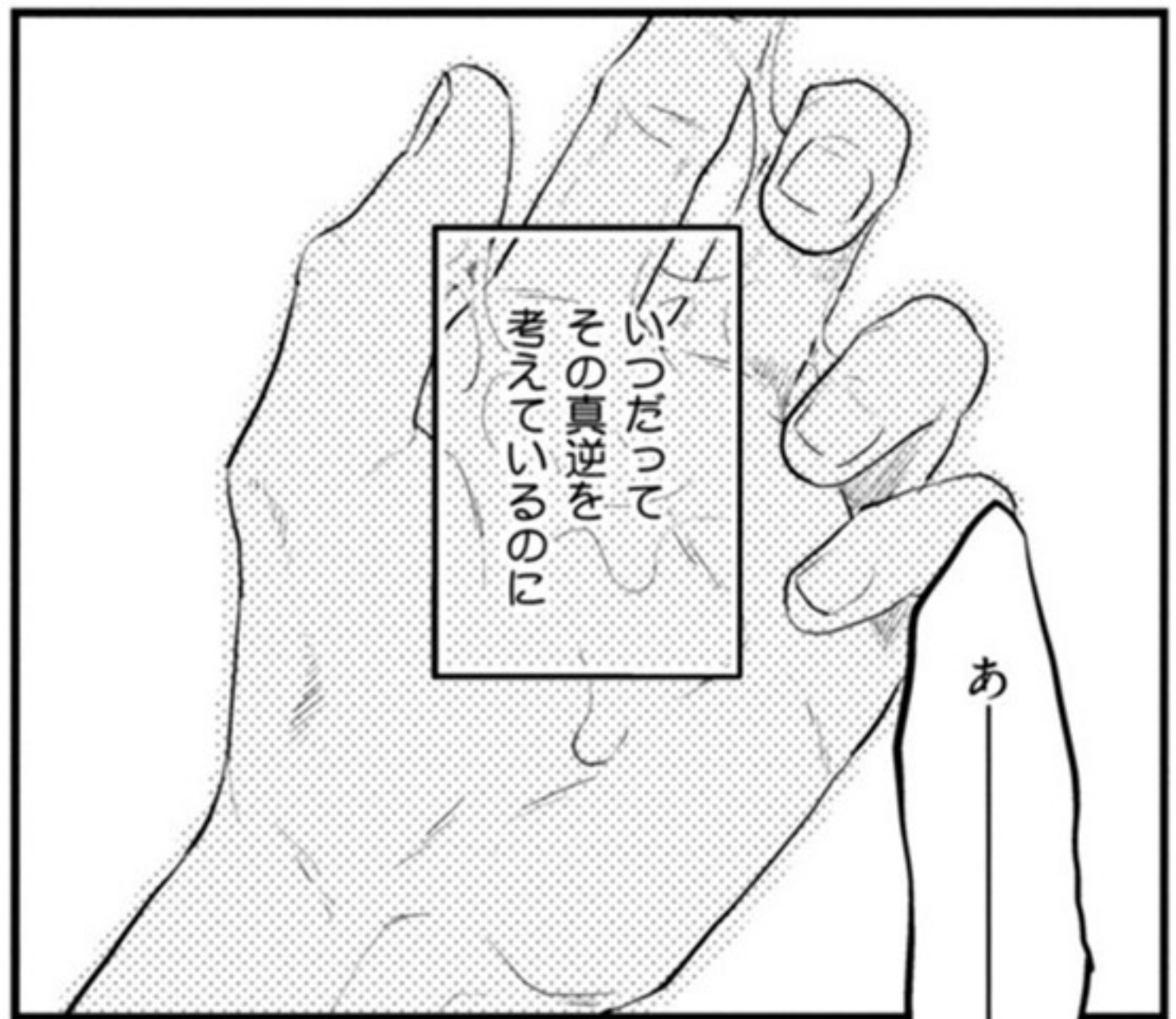
日夜問わず
抜きまくって
いる俺に



こんなんじゃない

好きだから
やりたいのか

やりたい
から…



いつだって
その真逆を
考えているのに

あー…



ほん

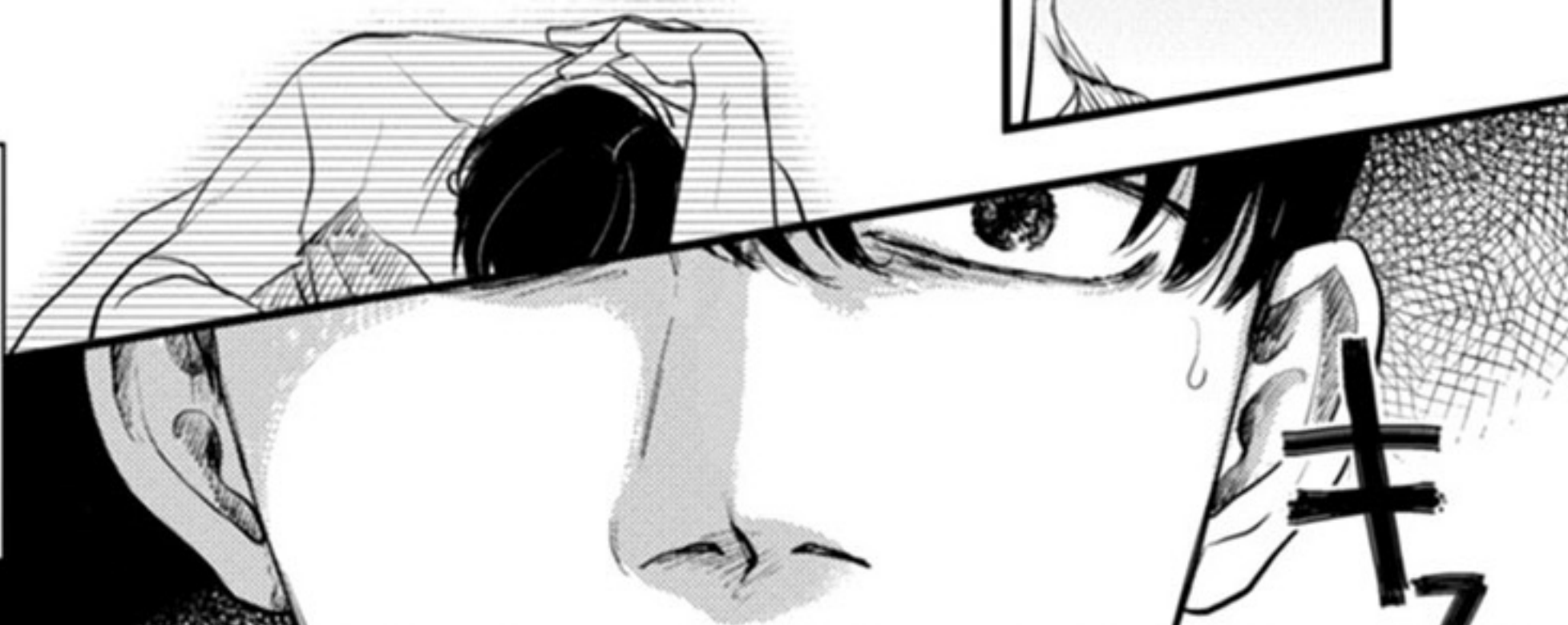
ん

「大丈夫」



そうだ
思い出せ

俺と
先生の出会い



今でこそ
定期検診に
通っているが

俺は元々
結構な歯医者
嫌いだった



いやあれは
もはや

恐怖症の
域だ



やばい
視界が

消毒液の匂い

身の毛の
よだつ金属音

当てられる
強い照明

覗き込む表情の
わからない顔

脳に直接
響き渡る振動

視界に
耐えられず
目を瞑るが

他の感覚が
いっそう際立つ
ばかりで

逃れることが
できず

どうにかなって
しまいそうな瞬間

大丈夫だよ



大丈夫



あの服は

俺は



…そうだ

それだけ
じゃあ
ないんだ

そう決意した
矢先のことだった

今日も

夕飯
俺んちで
食わない？

やだ？

そんなこと
言われたら

うん
No problem
for me... ..

勝手に期待
しちゃつよ



カンパニー

そんなつもり
ないんだらう
なあ



か
かんぱい

130
は
12

うまいっ



先生

楽しく
過ごさなきゃ

…余計なこと
考えないで

唐揚げのやつ
開けましょうよ
そっちは
ありがとうございます?

あー
ちよっと待って





職業病
だよなあ

はは

ヒッ

先生て几帳面
ですよ
給食当番
みたい

はい

よし
飲も飲も

なんでも
何でも
何でも

そういえば

はい

?



あ
起きた



こんな所で
寝ちゃったら
風邪引きますよ



先生の
話したいことって
なんだったのかな

せんせー



ビール
取ってる

ちよっとし
飲み過ぎ
ですってば
先生



え?



今日は
この辺にした方が
いいですって

ずいぶん
ペースが早かった
気がするけど

疲れてる
のかな

ふみや



先生じゃ
なくて

ふみや

な

呼んで
みてよ



なんで
隣来た？

え？

はやくー



いや動揺
するな

ただ面倒で
その場に
座っただけだ

…郁也さん

なに？

しゅうくん



待てよ



狙ってやっつてんの!!?

何それ



ぼん



俺からアクションを起すよ

もしかすると先生だって

プラットフォームを望んでいると聞いた訳じゃない

そもそも別に本人の口から直接



結構酔ってんな

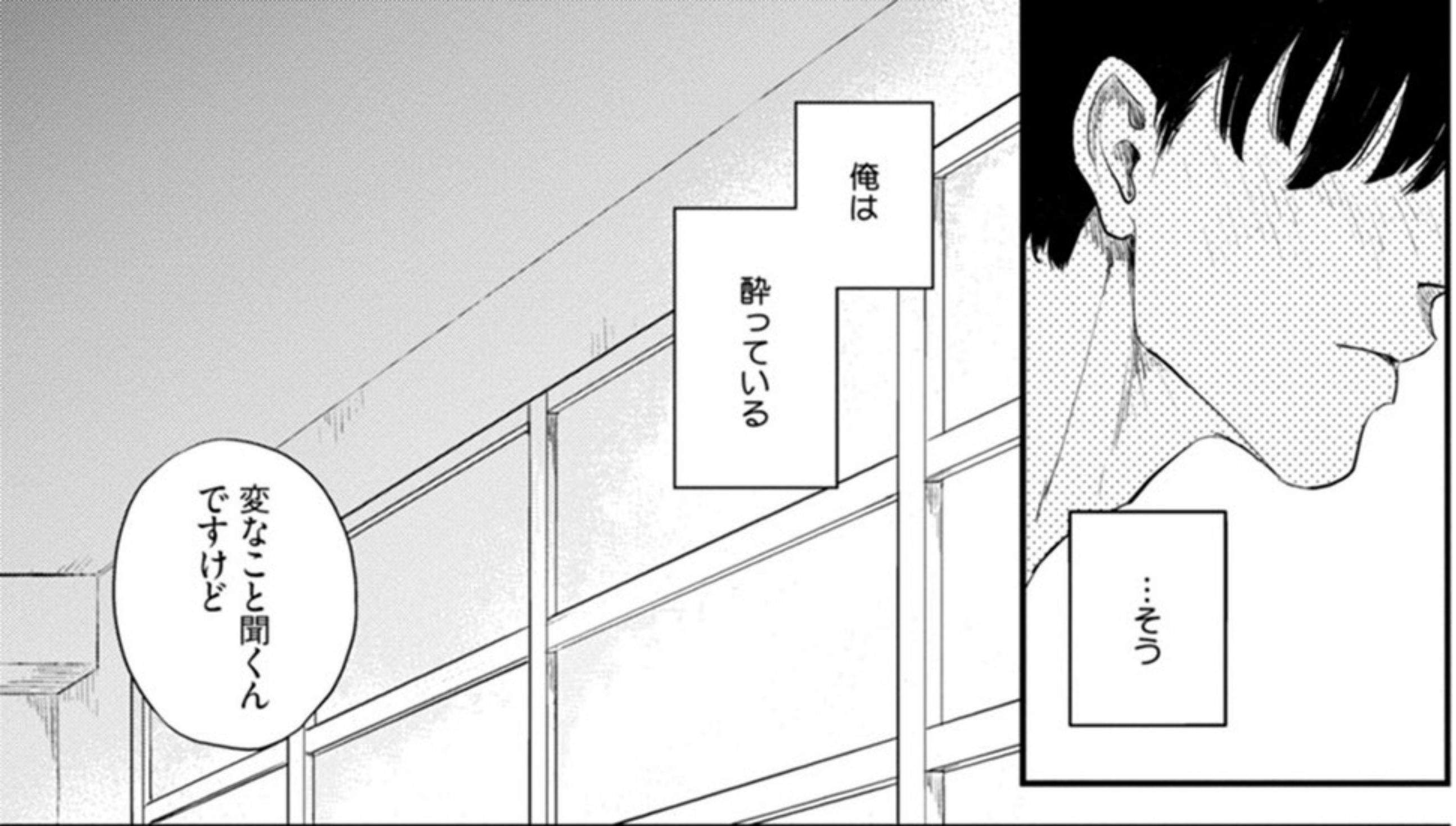
俺……

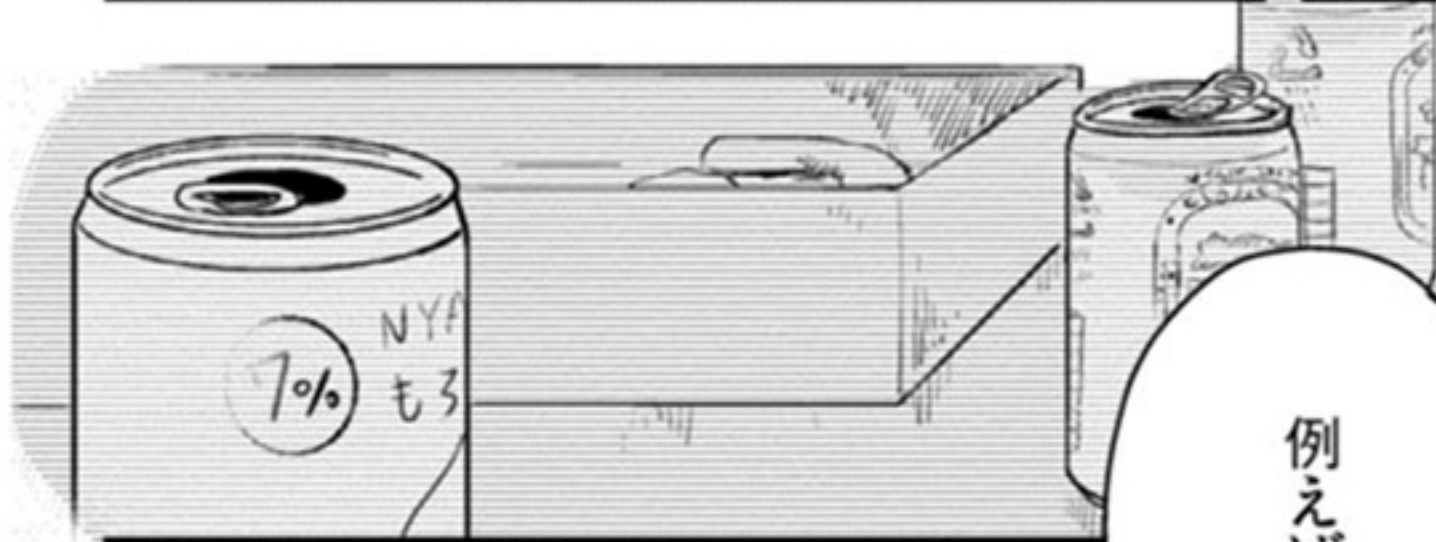
……いや駄目だこれは
自分勝手な考えだ



待ってるんじゃないか?

……







あ…

こ

俺 ごめん

言おうと
思ってたん
だけど



きよ

今日話あるって
言ったのは

すみません



いきなり
触られんのか

得意じゃ
なくって
あと
その…



俺 けど



いめんなめんこ

そうとは
知らなくて

謝るのは…
俺の方です



郁也さんは？



抱きしめたい

郁也さんと
手を繋ぎたいし

キスだって
したいし

その先も…



そう
思っています



…俺が
っていうか

いやほら

それ本気で
言つて…ッ

本当に
いいの？

俺
男だよ？



……もちろん



……



遠くって……

なんだか
先生が

俺 あーあ



それだけで
先生のこと

好きになった
訳じゃ
ないんです

ないんだけど



触らせて
貰えないからって
拗ねてるみたい

こんな
ガキ丸出し
じゃないか

先生がそれを
ちゃんとわかって
くれていることも

それだけで
好きになった
訳じゃない

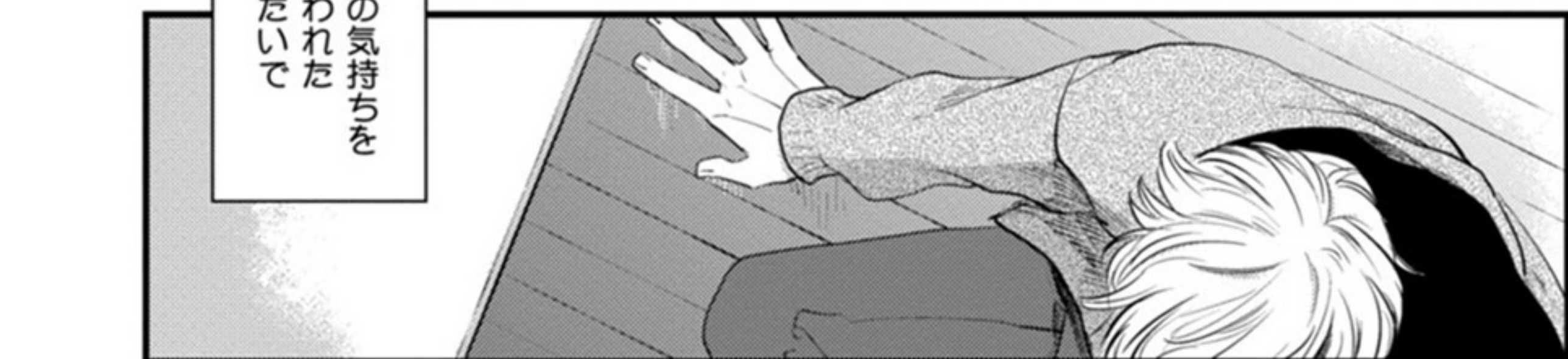
ちよー
ダメえ

わかって
るんだ



けど
今は

俺の気持ち
を疑われた
みたいで



信じて貰えないの？ って

……めんなさー







あ…

すみませ…





いや俺も

大変だ

あ、洗って

ごめん
ごめん
ごめん
ごめん
ごめん
ごめん

ちゃんと
洗ってから
消毒しなきゃ



ほんとう
俺は……っ

郁也さん



ああ
どうしよう
素手で……っ

先生
大丈夫です

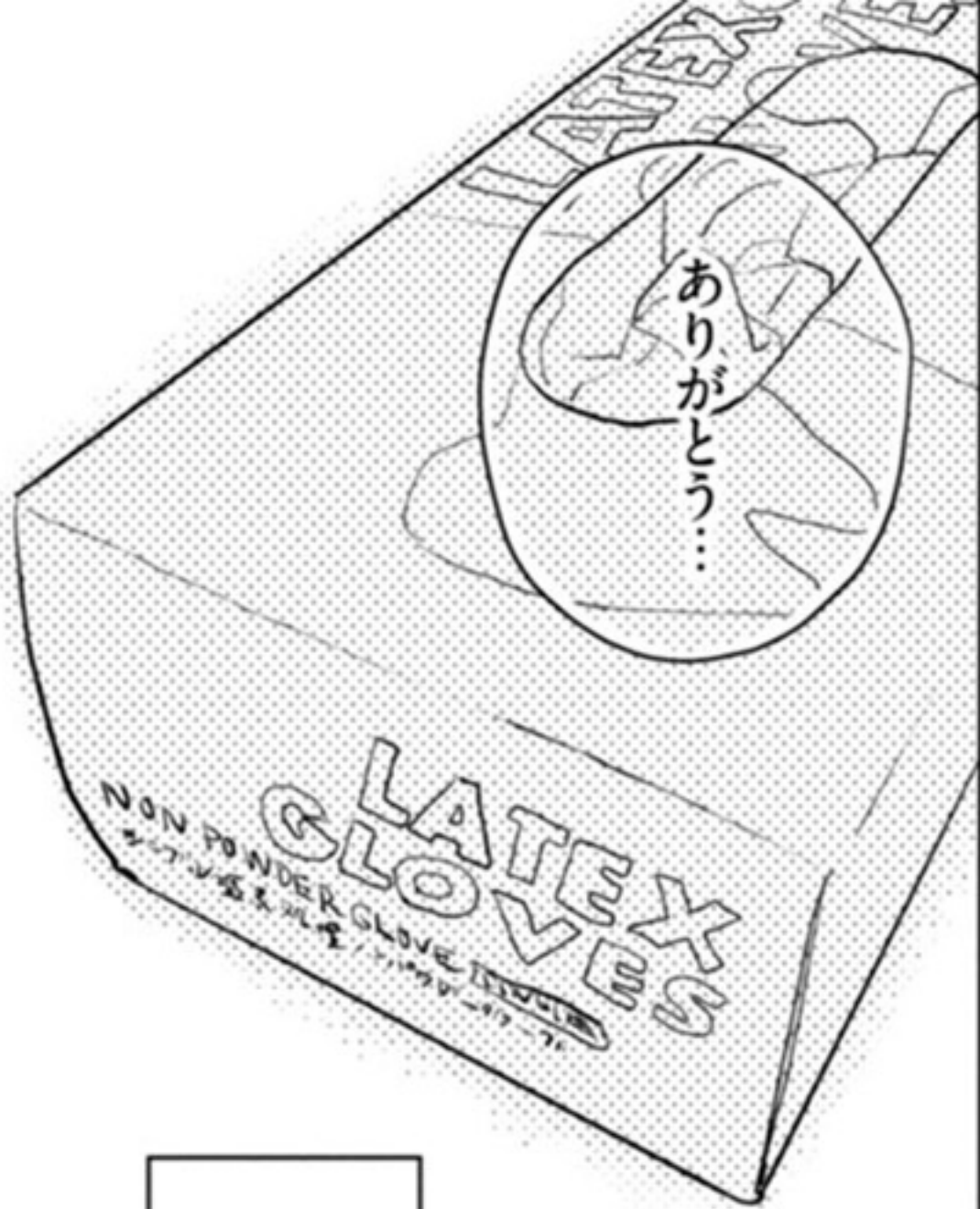
いめ



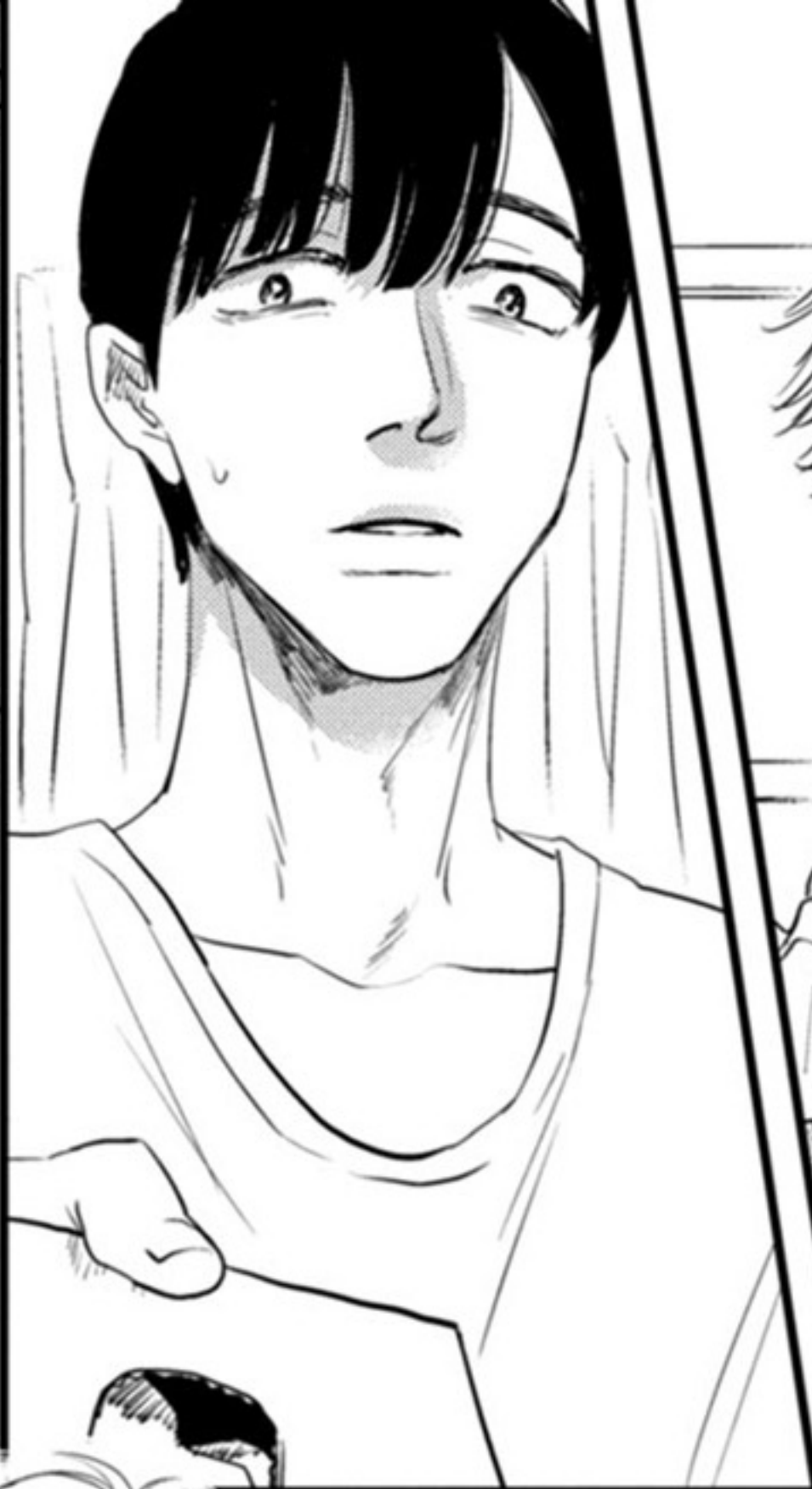
本当に
ごめん

先生

どうしよう
どうしよう



ありがとう…



それから
郁也さんは

ポツポツと
過去のことを
話してくれた



俺が触った
ことによって

菌とか
病気とか

そういう
悪いモノが
付いてしまうん
じゃないか

俺のせいで
傷つけたり
酷い目に遭ったり

死なせて
しまったり
するんじや
ないかって…

自分の手が
相手に触れることで

その人が汚れて
しまうような
強迫観念に囚われる

一時期は家を
出ることも困難で

そういう
病気が何年も
続いたけれど

治療を続けて
今では日常生活を
送れるくらいに
改善したこと

グローブ
ゴム手袋を
はめることで

自分の手にある
悪いモノに
封をするような

束の間の安心感を得られること

自分でも
馬鹿げた妄想だと
わかってるんだ

けど一度それが
頭を過ると

そのこと
ばかりが
頭を占めて…

もう駄目で…

「好きです」

あのとき
郁也さんは

一瞬
へんな表情かお
をしていた

けど

「ごめん」

「…俺も」

想いが
通じたことに

舞い上がって
いた俺は

先生の表情が
意味したこと

謝る理由も

今も

恐くて恐くて
しようがないんだ



ごめん

ごめん



…ごめんなさい

何ひつ

わかって
いなかったんだ



大学生・長田 守生と歯医者である倉科 郁也は
付き合って2ヶ月の恋人同士。

しかし守生は郁也からどことなく壁を感じ、
未だ手すら繋げていない事を悩んでいた。

ある日家に誘い関係の進展を試みるが、
手を振り払われてしまう。

愕然とする守生に、

郁也は「人に直接触れる事が怖い」と語るが…。

それでも
手を伸ばした俺は、
なんて強欲
なんだろう。

